

令和5年度 事業計画

I 事業実施方針

新型コロナウイルス感染症の長期にわたる流行は、社会・経済はもとより、国民の意識・行動・価値観にまで変化をもたらし、社会全体が大きく変わり始めている中、デジタル技術を活用した取り組みが各分野で急速に普及し、社会全体でデジタル化に向けた動きが加速しています。

このような中、県においては、「やまぐちデジタル改革基本方針」を改訂し、「やまぐちDX」の創出、「デジタル・ガバメントやまぐち」の構築など施策の取組みを強力に進められており、様々な分野でのデジタル実装の実現に向けて、全県的なDXの推進を加速化することとされています。

このため、当財団におきましても、山口県におけるデジタル技術の振興を図ることにより、活力ある地域社会の実現に寄与するため、デジタル技術の普及・利用促進等各事業を迅速かつ的確に実施していきます。

また、本県の情報化・DX推進のシンボルであるニューメディアプラザ山口（NPYビル）については、ビル利用者の安心・安全な施設管理に努めるとともに、テナント空室の解消や利用施設（イベント施設）の利用促進等により、財団の安定的な運営を図ります。

[事業一覧]

- 1 高度情報化の推進及びデジタル技術の普及・利用促進事業
 - (1) 情報化・デジタル化の普及啓発
 - (2) 全県的なDXの推進
 - (3) オープンデータの普及・推進
 - (4) デジタルデバイド（情報格差）対策の推進
 - (5) コンピュータールームの管理運営
 - (6) 市町ネットワークの管理運営
- 2 ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理運営事業
 - (1) 不動産の管理運営
 - (2) 利用施設（イベント施設）の管理運営
- 3 情報通信の格差是正事業
 - (1) 移動通信用施設等の管理運営

II 実施事業の概要

1 高度情報化の推進及びデジタル技術の普及・利用促進事業

(1) 情報化・デジタル化の普及啓発

- 県民、行政機関、民間企業等を対象として、高度情報化やデジタル技術をテーマとした講演会等を開催する。
また、最新技術やソリューション（解決方策）の普及に向けたデジタル展示会を開催する。
- 民間事業者等が、県民等を対象に情報化・デジタル化の普及啓発等を目的として開催する講演会や展示会等に対して、利用施設の施設使用料の全部又は一部を負担し、その活動を支援する。

(2) 全県的なDXの推進

やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」や官民連携のデジタルコミュニティ「デジタルック for YAMAGUCHI」を核としたデジタル技術を活用した地域課題の解決やDX推進を担うリーダー人材の育成、データ利活用の環境整備等を推進し、デジタル社会の実現に向けて全県的なDXをさらに加速化する。

ア 地域の社会課題の解決

① やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」の運営

- 全県的なDXを推進するため、行政や民間企業、大学等の多様な主体がDXの相談をすることができ、内容に応じてDXコンサルティングやデジタル化の技術サポート、デジタル人材の育成等を行う、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を運営する。
- 運営に当たっては、Y-BASEにDXコンサルタント、アーキテクト、データサイエンティスト等スキルを有する専門スタッフを配置する。
- Y-BASEのクラウド環境である「Y-Cloud」及び「山口県データプラットフォーム」を運営し、データ連携・分析やアプリケーション開発がクイックに行える環境を整え、相談者のDXにつながる実証を促進する。
- 県民にデジタル技術を体感してもらいデジタル化のきっかけづくりにするため、AIや5Gなどを活用した最先端のデジタル技術を紹介する「デモ展示」を設置する。
- Y-BASEに、市町のデジタル・ガバメント専用窓口を設置し、専門的な相談対応やデジタル実装に向けた伴走支援を行うことで、全県的なデジタル・ガバメントの構築を推進する。[新規]

- 山口県デジタル統括監を配置し、県のICT施策の企画立案、市町や企業等へのデジタル化に関するコーディネート等を行うことにより、デジタル技術の更なる社会実装を推進する。
- ② Y-BASEサテライトプロジェクトの推進 [新規]

Y-BASEのサテライト機能を活用したプロジェクトを展開し、地域の実情や特性を生かした地域DXを促進する先進的事例の創出を図る。

 - ・「宇部ブランチ」と「防府サテライト」において市と連携して実施
- ③ デジテック for YAMAGUCHI 活動の推進

デジタル技術を活用して山口県が抱える地域課題の解決を目指す官民連携のデジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」の活動を支援し、新たなコアメンバーの発掘や共創活動の活性化を図る。

 - ・会員同士による共創プロジェクトの支援
 - ・会員向け勉強会、交流イベント等の開催
- ④ シビックテックチャレンジYAMAGUCHI の推進

県内の地域課題・行政課題に対して、デジタル技術を活用した解決策をスタートアップ企業等から募集し、協働実証を実施する。

また、シビックテックチャレンジの成果導入に向けて複数の市町で行う広域実証を支援する。[新規]

 - ・シビックテックチャレンジ（8課題程度）
 - ・成果導入に向けて複数市町で行う広域実証への支援 [新規]
- ⑤ やまぐちリビングラボの推進 [新規]

住民の課題やニーズを把握した共創活動を展開するため、デザイン思考（デザインシンキング）を活用した潜在的な課題・ニーズの把握や生活空間におけるアジャイルな実証等に取り組むリビングラボを実施する。

 - ・「やまぐちリビングラボ」の開催

リビングラボ：住民や行政、企業等が生活環境での実験等により新サービス等を共創する活動

イ デジタル人材の育成

- ① やまぐちDXエバンジェリストの創出 [新規]

企業や団体等でDXを牽引するとともに、山口県におけるDXのエバンジェリスト（伝道師）となるDX推進リーダー人材の育成に向けたDXに関する最新かつ幅広い知見を習得するための人材育成プログラムを開催する。

- ・やまぐちDXエバンジェリストを創出する講座の開催

② やまぐちデザインシンキングカレッジの開催

DX推進に重要なデザイン思考を習得するための実践的な人材育成プログラムを開催する。

- ・「やまぐちデザインシンキングカレッジ」の開催

③ やまぐちAI Q u e s t の実施

デジテック for YAMAGUCHI の会員に対して、AI 業務プログラムオンライン講座を無料開放するとともに、一定レベルに達した受講生を対象としてハンズオン（伴走型）勉強会を開催する。

- ・オンライン学習 AI 学習プログラムの無料開放
- ・ハンズオン講座の開催

④ ワールドAI コンペティションの実施

企業や行政等から募集した課題を解決するAI 開発コンペティションを開催することにより、高度人材の発掘や育成強化を図るとともにAI モデルを獲得する。

- ・「ワールドAI コンペティション YAMAGUCHI」の開催

⑤ データ利活用実践研修の実施

データ加工・可視化・分析に必要なスキル習得を目的とした、ツール等を用いて学習する実践研修を開催する。

- ・やまぐちデータアカデミー研修の開催
- ・データ分析・可視化実践研修の開催

ウ データ利活用の促進

① デジタルツインの推進 [新規]

「デジタルツインプラットフォーム：Re:Earth」等を活用し、行政と住民がともに作り上げる住民参加型デジタルマップを構築し、官民データの利活用環境を整備する。

デジタルツイン：収集データをもとに、現実空間の双子（ツイン）をデジタル空間に再現する技術

② 官民データ利活用の促進

オープンデータをはじめとした官民のデータの集積の促進や可視化ツールを活用したデータ分析の伴走型支援を行う。

- ・データプラットフォームへの各種行政データ等の収集・整理・格納及び解析
- ・官民参加型のデータ利活用ワークショップの開催

(3) オープンデータの普及・推進

県及び市町の行政データ（オープンデータ）を県民や民間事業者等誰もがインターネットを通じて容易に利用できる専用サイト「山口県オープンデータカタログサイト」の適正な管理運用を行う。

また、県や市町と連携して、公開データの登録数の増を図るとともに、県民や民間事業者等が幅広く利活用できる場の提供に努める。

(4) デジタルデバイド（情報格差）対策の推進

誰一人取り残さないデジタル社会の実現を図るため、デジタル機器の活用に不安のある高齢者等がデジタルの「楽しさ」や「利便性」を理解し、より豊かな生活を実現できるよう、デジタルデバイド対策を推進する。

- ・事業者提案によるモデル事業の創出（3提案）
- ・市町提案による独自取組への支援（19市町）

なお、市町提案型については、市町の取組みの拡充を図るため、市長会・町村会と連携して実施する。

(5) コンピュータールームの管理運営

NPYビルの7階を「県情報センター」と位置付け、情報処理機器が安全かつ安定して稼働できるよう施設設備を整備しており、県民サービスに直結する各種行政システム等のサーバーが設置されているコンピュータールームの適切な管理運営を行う。

(6) 市町ネットワークの管理運営

やまぐち情報スーパーネットワーク（YSN）を利用した市町ネットワークの一元化による管理運営を行い、市町ネットワークの適正な運用に努める。

2 ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理運営事業

(1) 不動産の管理運営

NPYビルが県の情報化・DX推進の拠点施設としての役割を果たすため、適正な施設管理を行うとともに、安定かつ安全な施設の運営に努める。

ア テナントの確保

財団の安定的な運営を図るためには、テナントオフィスの空室の早期解消が必須課題であり、引き続き、県や山口市、不動産会社等に積極的に働きかけ、入居率の向上に努める。

イ 「NPYビル中期（5ヶ年）修繕計画」の実施

「NPYビル中期（5ヶ年）修繕計画」（令和2年度～令和6年度）に基づき、次のとおり修繕工事を実施する。 [令和5年度実施予定額：145,166千円]

- ① ビル外壁廻り大規模改修工事（令和3年度発注済）
ビル外壁廻り全般にわたり劣化（外壁タイルひび割れ、シーリング劣化、外部建具の錆等）が進み、雨漏りの原因にもなっているため修繕工事を行う。
- ② ビル警備管理システム更新工事
ビル及びビル内各室への入退室に係る警備管理システムについて、設備全体に渡り劣化が著しいため更新する。
- ③ 消防用・揚水用ポンプ更新工事
地階設置の消防用ポンプ及び揚水ポンプについて、老朽化により水漏れ等が発生しており更新する。
- ④ 各階火災・煙感知器等取替工事
各階の火災感知器、煙感知器等について、経年劣化により、作動しないおそれがあるため更新する。
- ⑤ シアター（客席）・ホール等照明LED化工事
1階イベントホール天井照明及び多目的シアター客席照明等共用部の照明について、既存ハロゲン等が生産終了となっていることから、LED（省エネ）に更新する。
- ⑥ 空調設備更新工事（2階一部）（令和4年度発注済）
2階テナント室等の共用空調室外機の性能が経年劣化により低下していることから、空調設備（室外機・室内機）を更新する。

(2) 利用施設（イベント施設）の管理運営

利用施設（多目的シアター、イベントホール、ミニギャラリー）の適切な管理運営を行うとともに、利用者のニーズを踏まえ、効果的なPRや魅力的なイベント企画を行い、利用率の向上を図る。

3 情報通信の格差是正事業

(1) 移動通信用施設等の管理運営

移動通信用施設等に係る資産や設備機器の適切な管理運営を行う。